

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
在住者 (上市)	—	<p>東京・大阪・広島市の市街地に出来ているアウトレットモール(衣食住を含めた県内にないブランド店等)を誘致すれば、県内外より山陽インターに集客出来ると思われま。普通の衣食住の大型店では集客は望まれないと思われま。アウトレットが出来た事により赤磐市の魅力も出て来ると思われま。</p>	<p>アウトレットモール等の大型商業施設の立地については、周辺の道路状況や既存店舗との競合など、地域に大きな影響をもたらすことが想定されることから、その誘致については慎重に検討すべきであると考えております。</p> <p>頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
在住者 (山陽) <small>※次項に続く</small>	P 3 都市計画マスタープランの位置づけ	<p>地方都市には、膨張思考の地域と収縮思考の地域とがある。それは住民の意識で決まる。</p> <p>都市構想は先ずその都市の地域性、特殊性を活かした独創的な顔が見えること。それには住民が培ってきた生活文化を基盤とした生活哲学から生ずる歴史的な伝統が重視され、未来に向けての夢、理想が含蓄されたものが望ましいと思う。都市計画には変えなくてはいけない面と変えてはいけない面を見極め、住民とともに青写真をつくるのが大事である。</p> <p>この市は美しい田園を背景に、古代からの歴史遺産を宿し、高度な生活文化が展開されてきた地域である。それに加えて山陽、桜が丘の新生活地域で生活文化感覚を融合し、田園都市にあって福祉文化都市を望んでいる。</p> <p>市の活性には人の渦のようになって動き、互いの交流を密にする社会資源が必要であり、そのために市民が一体となる道標が大切である。『人いきいきまちきりり』、活力ある、住みよい、住みたい赤磐市』という憲章がある。それがどこで、どのように、いつ具現化するか、そのシナリオ、デザインが今回のプランの改訂であろう。しかし、残念ながら公文書的で、ぬくもりがない。根源となる理念が薄く、具体性に乏しく、机上のプランに感じる。現状、実態をアセスメントして、住民と充分協議し、改訂の改訂でなく、新しいマスタープランを再構築してはいかかでしょうか。このプランに取り組みされた方々には感謝するが、もっと確信と情熱をもって市民に当たって欲しい。説明後「あれではなかなかよくなるない…」という声を耳にした。市民の意識改革も必要だが、市の職員、議会議員の意識改革も必要である。</p> <p>私は岡山市からこの地に転居し40年が過ぎた。岡山市に隣接するこの市には、発展する好条件が多くある。高速道路ができ、商店が次々と建ち、生活の利便性は良くなったが、青田は消え、桃畑は荒れ始め、美しい緑の情景が失われつつある。魅力ある市の再生のためにインフォーマルの力を持ってフォーマルに協力できる市民教育が急がれる。他の都市の大学へ行った若者の帰省率は低い。若者にとっても、高齢者にとっても住み心地のよい、生きがいを感じる市となるために、互いの意識改革が必要である。岡山市へのキャッチャーボートのようなベッドタウンになってはいけない。手ごたえのある、実現可能なマスタープランを市民とともに作成し、成就していくことが急務である。仕事柄、世界の都市づくりを視察してきたが、この市には、市を発展させる素材が一杯あると確信している。問題はそれを見出し、育て上げる人材の起用である。</p> <p>職員の方々の日頃の労苦に敬意を表するとともに、「アクションプランにのっていない」「予算がない」「前例がない」という言葉は止めて、新しいことに挑戦して欲しい。</p> <p>長々と駄文を綴り、相済まなく思いつつ、市民の幸せのためにベストを尽くして下さることを心より願う。</p>	<p>本計画は、中長期的な展望に基づいて定めた都市計画に関する基本的な方針であり、今回の改訂は、本市の総合計画と、岡山県の都市計画区域マスタープランという2つの上位計画が改訂されたことを契機に、それらに整合するよう計画の一部を改訂するものであります。</p> <p>今後、時代の潮流の大きな変化や、市民からの強い要望などにより、本市の都市計画の方向性について大きく舵を切る必要が生じた場合には、新たなマスタープランを再構築していくことも検討すべきと考えております。</p> <p>まちづくりへの市民参加については、市民意識の醸成や人材の育成・起用を含め、その必要性は認識しており、本計画でも都市づくりの進め方として、多様な主体との連携を図りながら市民の自主的なまちづくりを支援することや、市民の参加・参画の促進についての方針も記載しております。</p> <p>また、都市づくりの基本理念や都市づくりのテーマに即して、歴史的伝統を活かしつつ、単なる岡山市のベッドタウンではない世代が循環する持続可能なまちづくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
	P12 市民意識・意向からみた課題	<p>市民アンケートの信憑性にやや疑問を感じる。アンケートの内容の再検討をし、年に1回くらいは実施しつつ、こまめに見直しをすることが大事だと思う。</p>	<p>市民アンケートは、総合計画等の施策効果検証のため年1回実施しており、その結果については本市の各種施策の参考としております。</p>

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・ 該当箇所	ご意見	市の考え方
在住者 (山陽)  <small>※前項の続き</small>	P27-29 将来都市像	各地域のゾーンづくりの明確化をもって、機能性、美観性、健康を重視した市全体の将来像が理解できる図面化、図表化(スケジュール)を公表して欲しい。一か所でも早く具現化して、この市が新しい良い方向に動き出したことを明示して欲しい。	本計画では、中長期的な視野に立った都市の将来像を、イメージ図として将来都市構造図にお示しております。今後はその実現に向けて、適切な時期に、より具体的な計画等を検討・公表してまいります。
在住者 (仁堀東)	P 24 都市づくりの 基本理念	都市づくりの基本理念として 「暮らしやすい生活環境のある都市づくり」 「活力とにぎわいのある都市づくり」 「豊かな自然環境のある都市づくり」の3つを掲げています。この3つをバランスよく実現しようとしていると思いますが、そのような都市は他でもいくらでもあります。 また、多くの都市は、赤磐市が掲げているような理念を、実現できていないと思います。例えば、多くの都市が暮らしやすさばかり優先して、自然環境がない都市になっていると思います。 だから、僕は、思い切って自然環境を優先した都市づくりを進めることを望みます。例えば、「赤磐市は自然環境の保護を第一に取り組んでいます」と強く主張すれば、自然環境に意識の高い若い人たちが集まってくる可能性が高いと思います。 しかし、「暮らしやすさも、自然環境も守ります」と主張すると、そんなことは他の色々な都市でも言われていることで、差別化ができなくなると思います。バランスを取ることも大事ですが、すべてを実現しようとしすぎるとすべてが中途半端になる危険性があると思います。	本計画の根拠法令となる都市計画法では、農林漁業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保すべきことを基本理念としており、また、上位計画である総合計画においても「つながり・うるおい・にぎわい・あんしん」をまちづくりの基本理念として定めていることから、これに整合するよう調和を重視して都市づくりの基本理念を定めております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
	P 24 都市づくりの テーマ	都市づくりのテーマとして「豊かさを実感し、人と自然が共生する創造都市 赤磐」としています。 しかし、これでは曖昧すぎてピンとこないし、イメージが湧きません。もっと具体的なシンボルを掲げる必要があると思います。例えば、兵庫県豊岡市は「コウノトリ」をシンボルとして掲げ、自然環境を守る地域だというイメージをつけることに成功しています。 また、コウノトリを守るために無農薬でお米を作ることが広がるなど農業の活性化につながったり、コウノトリ関連の商品もお土産として売られていて地域経済の活性化にもつながっています。 だから、赤磐市も同じように何かしらの象徴的なシンボルを掲げて都市づくりをしていく必要があると思います。 例えば、実現は難しいと思いますが、マツタケを復活させるような活動を起こして、「マツタケ」を赤磐市の都市づくりのシンボルとします。(吉井地区では昔たくさんマツタケが取れたから) そうすれば、「マツタケを復活させるほど自然環境を守ることに意識がある街なのね」という良いイメージが付きやすいと思います。 また、マツタケを軸としてそこから農業や林業の活性化にもつなげていくことが可能だと思います。 とにかく、僕が言いたいのは象徴的なシンボルを見つけた方が良いということです。	本計画の都市づくりのテーマは、本市の都市計画の基本的な方向性を基本理念に基づいてより具体的にお示したものであり、このテーマに即して基本目標等を定めております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
<p>在住者 (桜が丘西)</p>	<p>P 49 市街地整備の方針</p> <p>魅力ある中心市街地の整備</p>	<p>「魅力ある中心市街地の整備」について 素案が総論にとどまり具体性に欠けるので、都市計画マスタープランに馴染まないかもしれないことを承知で以下の意見を述べます。</p> <p>1. みのるグループ敷地の移転 市役所前南側にみのるグループが占める広さと位置が重大であることは明白です。当市における同企業の重みを考えれば軽々に論ずることはできませんが、効果が大きいだけに敢えて提案します。 既存の工業団地だけでなく、市街地周辺に工業用地は方々にあります。市と企業、双方の発展のために協議を始める時であると思います。 市の中心部に市民ホールや緑地公園などの計画をこそ、都市計画のマスタープランに盛ることを望みます。</p> <p>2. 旧県道の改善 説明会の席で地元の方が発言されましたが、長年経っても改善される様子が見えません。小中学生の通学路でもある歩道の狭さと凹凸による歩きにくさは、下市から岩田までこの道を歩いてみれば分かります。自転車も車道が危険なため車道を避け、歩道を走ろうにも極めて走り難い状況です。旧県道に沿う水路も自転車、バイクにとって危険です。(下市から沼田、中島口への区間も含む) 子どもたちの9年間に及ぶ通学路の窮屈さが人格形成に及ぼす影響は無視できません。山陽北小学校へ拙宅の前を通学する生徒が登校時は班ごと2列で整然と、下校時は三々五々楽しそうに語らうのを見なれていると、都心小中学校への現状がいつまで続くのか気がかりです。市中心市街地の骨格道路としても改善・整備が急務です。 問題解決の具体案は、車道を1車線・一方通行(通勤を考慮して午前・午後で向きを変えるのが一案)にすることです。新県道と山陽団地を貫く市道が両側にあるため、自動車交通への影響は許容範囲です。8年前に都市計画課が公募したまちづくりワークショップに参加して上の提案をしましたが、沿道住民の利害を考えれば無理な話だと一蹴されました。 岡山市内の県庁通り・あくら通り、大阪市の御堂筋を挟む松屋町筋・四ツ橋筋など一方通行の例は幾つもあります。ヨーロッパの旧市街ではトラム・車道の1車線が普通で(石造建築が多くて容易に拡幅できないため)、自転車と歩行者がそれぞれのレーンを通行しています。 車道・自転車レーン・歩道の三つに区分し、別色のカラー舗装にすれば街の景観が一変して、歩くのとサイクリングの人が増えるに違いありません。歩行者天国もできると思います。</p>	<p>本計画は、都市計画に関する基本的な方針であり、市街地整備の方針として、魅力ある中心市街地の整備を促進するという方針をお示しております。 市役所周辺は、地域の発展とともに一定の都市機能の集積が図られている一方で、用途の混在も見られる状況であり、今後、土地利用状況に変化が見られる際には、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、魅力ある中心市街地となるよう、検討していくべきものと考えております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p> <p>本計画は、都市計画に関する基本的な方針であり、市街地整備の方針として、歩道や横断歩道の設置など交通安全施設の整備や交通規制の充実を図ることにより、快適、安全な空間づくりを進めるという方針をお示しております。 また、交通施設整備の方針では交通安全施設の整備や段差の解消など交通弱者に配慮した、人にやさしい安全な道路として整備を進めるという方針をお示しております。 ご指摘の旧県道については、今後、この方針に即して、具体的な整備内容や整備時期など、個別に検討していくべきものと考えております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>在住者 (桜が丘東) ※次項に続く</p>	<p>P 45 その他の都市施設等の整備方針</p> <p>教育・文化施設</p>	<p>「音楽のコンサートや演劇等を行うホール」は赤磐市を除く県内全ての市で備えられており、無いのは人口数千人規模の数町村だけである。これは赤磐市の文化施策の低さを内外に発信している恥ずべき状態である。 赤磐市民の文化水準は高く、ホールの建設は喫緊の課題であり「整備・充実を目指す」という悠長な段階ではない。 ホールが無いために、一流演奏家に適正な入場料が設定できず、その結果良質な演奏を聴く機会が失われている。 「整備・充実を目指す」ではなく「建設・整備を図ります」と明確にすべきである。</p>	<p>本計画では、都市計画に関する基本的な方針として、地域の市民文化活動を支える施設については、整備・充実を目指すこととしております。 ホールの建設については、平成29年11月に実施した市民アンケートにおいても、優先度が低い結果が出ており、財政状況や稼働率を向上することなども考慮し、公共施設との複合化や効率的な管理運営方法など、慎重に検討すべきものと考えています。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。 ※上記アンケート結果については、市HPに掲載しております。</p>

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
<p>在住者 (桜が丘東) ※次項に続く</p>	<p>P 49 市街地整備の方針  住宅地開発の誘導</p>	<p>赤磐市に限らず、全国的にも住宅地開発があたかも当たり前のようになっているが、既にトータルとしての居住に必要な住宅地はあり余っている。人口減少時代を迎えての新たな宅地開発は、更なる空地・空家の増加を招くことに他ならない。赤磐市においても取り組むべきは山陽団地、桜が丘の空地、空家の解消であり、新たな住宅地開発は極力抑制されるべきである。今後取り組むべきは住宅地の量的拡大ではなく、増改築を含めた住宅の質的向上である。</p>	<p>本市では、人口が減少に転じた平成17年以降も、依然として新築建物の建築活動が活発に行われております。 一方で、ご意見のとおり空家等の増加も問題となっており、本年4月には空家等対策計画を策定し、その利活用や除却についても積極的に取り組んでおります。 本市が目指す人口密度を高めた効率的な都市構造の実現には、市街地内の宅地の有効活用が必要であり、市民のニーズに合った新築あるいは空家の活用による人口密度の維持・向上につながるよう、秩序ある開発および増改築による質的向上を含めた空家等の利活用を促進してまいります。 頂いたご意見については、下記のとおり計画案を修正するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p> <p>※計画案の修正内容 ・空家家に関する方針等の追加 &lt;該当箇所&gt; P10,P19,P25,P49</p>
	<p>P 52 人にやさしいまちづくりの方針  日常生活における安全性の確保</p>	<p>交通安全施設の一つとして「ハンプ(道路上のコブ)」の設置が有効であり、積極的に設置すべきである。現在赤磐市内に設置されているハンプは「山陽ふれあい公園」だけと思われるが、桜が丘、山陽団地等住宅密集地には積極的に設置すべきである。 ハンプは車のスピードを押さえ、交通事故の危険性を軽減できるほか、犯罪心理学者からは、犯罪者を入れない効果(「入りにくい、逃げにくい安全な場所」)も指摘されている(小宮信夫著『子どもは「この場所」で襲われる』P.153)。</p>	<p>本計画では、都市計画に関する基本的な方針として、交通安全施設の整備を優先的に行うこととしております。 住宅団地内でのハンプの設置については、地元自治会から整備の要望等がありましたら、その必要性、有効性等を含め、検討していくべきものと考えております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
	<p>P 55 地域区分</p>	<p>「歴史的な沿革や地形、地理的条件などを考慮」すれば、それらの全てにおいて明らかに他地域とは違う「桜が丘地域」を独立させてマスタープランを立てるべきである。 桜が丘は赤磐市の人口の約4割の住民が居住し、都市計画において独立した「地域」としてとらえるに十分な共通性と特色を持った地域である。「桜が丘地域」を独立した「地域」としてとらえていなければ、桜が丘はもとより、旧山陽、熊山地域にとっても実情に即した施策は打ち出しようがない。 一例として「高齢化率」をみても、「桜が丘地域」は「山陽地域」、「熊山地域」に分かれて包含されている。しかし、高齢化率は桜が丘西、桜が丘東地区は約20%、旧山陽、旧熊山地区は約40%と大きな隔りがある。90頁の「地域別の人口推移」も山陽、熊山地区のデータは桜が丘と旧地区という異質の地域を一緒にしている。このデータからは桜が丘地域が見えないと同時に、旧山陽、熊山地域の実態も見えてこない。都市計画検討のためにデータとしての価値はない。 検討すべき対象の特性を的確にとらえ、かつそれらを正確に反映したデータに基づいて作成されたプランでなければプランとしての意味を持たない。この素案では桜が丘地域が旧山陽、熊山地域に埋没していると同時に、旧山陽、熊山地域も桜が丘地域が混在した中途半端な表現となり、赤磐市の実態が全く見えてこない。これでは実効性ある赤磐市の都市づくりは出来ない。 前回改定は旧4町が合併して数年しか経っていなかったため4地域の並列になっていたのもやむを得なかったともいえるが、今回改訂するのであれば「桜が丘地域」を独立した地域としてとらえてプランを作成しなければ、マスタープラン改訂の意味が全くない。 面倒ではあるが「地域別方針」に「桜が丘地域の都市づくりの基本」を独立させるべきである。</p>	<p>本計画は、中長期的な展望に基づいて定めた都市計画に関する基本的な方針であり、今回の改訂は、本市の総合計画と、岡山県の都市計画区域マスタープランという2つの上位計画が改訂されたことを契機に、それらに整合するよう計画の一部を改訂するものであります。 今後、時代の潮流の大きな変化や、市民からの強い要望などにより、本市の都市計画の方向性について大きく舵を切る必要が生じた場合には、新たなマスタープランを再構築していく必要があり、その際には新たな地域別構想についても検討すべきと考えています。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
<p>在住者 (桜が丘東) ※前項の続き</p>	<p>P 36 施設整備の方針  公共交通の整備方針</p>	<p>「バスなどの交通手段の維持・充実を検討します」とあるが、現在の市営バスや、宇野バスの循環バスでは市民ニーズに合致していないのは乗車利用数を見ても最早明らかである。</p> <p>バスではどうしても運行ルート、運行回数が限られ利用しにくいほか、固定費負担(車両、運転手)が大きく、財政的にも最早公共交通の手段としては成り立たない。バス運行は行政のパフォーマンスでしかなく時代遅れである。</p> <p>必要な時に必要な場所に行けなければ意味がない(タクシー並みのオンデマンド方式)。既に私が住む地域ではボランティアが無報酬で移動手段のない高齢者の依頼を受けて病院への送迎や、買い物同行をしている。</p> <p>行政の施策として行うならば、依頼を取りまとめる拠点と協力するボランティアの人員を確保するだけである。ボランティアへの実費負担など細目はどうにでも決められる。僅かな利用料を徴収しても大した金額ではない。子供の医療費を無料に出来るなら、この程度は老人福祉施策として出来ないことはない。それでもバス運行より確実に財政負担は少ない。それより「赤磐では病院や買い物に無料で送ってもらえる」とした方が余程住民の為になるし、赤磐の魅力アップにもなる。</p> <p>本気で取り組めばボランティアの確保は可能であることは私の地区で実証済みである。</p> <p>「必要な時に必要な場所にどうすれば行けるか」答は簡単。要は発想の転換である。</p>	<p>本計画では、公共交通の整備方針として、バス交通等の利便性向上を目指し、運行形態や経路等の検討、再編を進める方針をお示しております。</p> <p>本市では現在、公共交通の基本計画となる赤磐市地域公共交通網形成計画の策定を進めており、各地域の実状に応じた効果的、効率的な手法を検討しております。</p> <p>なお、ご提案のボランティアによる無償運送については、行政主導で行うことはバス・タクシー事業などの民業圧迫につながる恐れもあることから、市民の皆様や交通事業者のご意見もお聞きしながら、福祉施策として何が出来るのかも含め、今後、慎重に検討すべきものと考えております。</p>
<p>—</p>	<p>—</p>	<p>今回のマスタープランには、子育て、教育等人づくりに必要な施設整備について全く触れられていない。都市計画において教育環境をどう整備するかは重要事項で、これがなければ赤磐市での人づくりの将来像が見えて来ない。</p> <p>例えば、桜が丘へのこれまでの入居者は定年後と仕事を持つ現役世代の移住者であった。今後はこの現役世代の子供が社会人に育っていく。その時に赤磐に定住できる仕事確保できなければ若い世代の市外への流出が起きてくる。</p> <p>赤磐で見込まれる主要な仕事の場合は農業、工業と福祉・介護分野である。市立高校を設立してこれらに従事できる人材を育てれば農業後継者、エンジニア、高齢者を支える福祉専門職として若い世代の赤磐への定着に寄与できる。県立高校はともかく、市立高校であれば市民の合意を得て建設可能ではないか。</p> <p>「教育環境の整備」として1項目加えるべきである。</p>	<p>本計画では、教育・文化施設の整備方針として、学校施設の耐震化やICTを活用した教育環境整備を推進することや、医療・社会福祉施設の整備方針として、保育体制の充実や子育て施設の拠点施設の整備を図ることなどをお示しております。</p> <p>ご提案の高等学校の設置については、現在取り組んでいる子育て支援や定住促進など、各種の施策の着実な推進に努め、近隣県立高校との連携も深めながら進学実績をあげていくことで、県立高校誘致の実現を可能にしたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
<p>在住者 (桜が丘西)</p>	<p>—</p>	<p>都市計画のプランとしては、範囲が広く何から手をつけるのか解らない。ただ、ホームページの資料を見る限り良くできていると思う。</p> <p>今後のスケジュールが解る資料があればよいと考えます。たとえば、QC手法等を利用し、重みづけをするのが、良いかと思えます。</p>	<p>本計画では、将来の都市像、土地利用や都市施設整備など、都市計画に関する基本的な方針を幅広くお示しております。</p> <p>今後、都市計画に関する事業、案件等あった場合は、この基本方針に即し、それぞれの事業計画においてスケジュール等を示していくこととなります。</p>

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・ 該当箇所	ご意見	市の考え方
在住者 (小原)	P 27 将来都市像  拠点	市役所(本所)中心とする都市拠点と地域拠点赤坂支所周辺は地域的連続性が強く(文化産業面、経済面)旧鳥取荘と言われている。旧町村制ができた時分割したものであるため、本来は1つのものであると思われる。従って1つの集団が良いと思われる。	本計画では、目指すべき将来都市像として、都市的な機能の集積を図る拠点とすべき地域を設定しております。赤坂支所周辺についても、周辺地域の日常生活の利便性を向上させる施設を誘導する地域拠点として設定しており、その役割において、市役所周辺の都市拠点とは異なるため、個別の拠点としてお示ししております。
	P 25 将来目標  都市づくりの 基本目標	赤磐市の経済を支える農業 米作中心で一部果樹園芸が作付されているが、施設園芸中心の野菜栽培の普及推進が良いかと思えます。	本計画では、農業などの主要産業の利便の増進に資するよう、計画的・効率的な拠点の形成に取り組むこととお示ししております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (河本)	—	1. 地域人口に見合う中小の公園を設置すること (防災や子供、高齢者のいこいの場として) 2. 農業用水路にコンクリート板を設置して (歩行者の安全を守って欲しい) 3. 市道岩田河本下市線を一方通行にするか、大型車通行禁止にするか、時速30キロ制限にして歩行者の安全を確保して欲しい 以上3点は住みやすい町にする最低限です	本計画は、都市計画の基本的な方針であり、公園・緑地の整備方針として、身近な公園を整備状況や地域特性を踏まえて適切に配置すること、また、人にやさしいまちづくりの方針として、歩行者の安全性を確保することをお示しております。 具体的な対策や整備などについては、この方針に即して、個別に検討していくべきものと考えております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (桜が丘西) ※次項に続く	P 10 都市の 現況特性  土地利用に 関する 現況特性	□住宅の新築は、桜が丘団地を中心に市街化区域内で依然として活発であり、将来的には市街化区域内で住宅用地が不足することが見込まれます。 →販売主であるダイワハウスの計画宅地はほぼ全て完売済みであり、依然ネオポリスは人気地域である為、新たに土地を造成されてはいかがでしょうか? 赤坂地域の神田・奥・大苅田を桜が丘北地区として、区画整理し、新たな分譲団地として開発されてはいかがでしょうか? 桜が丘地域が赤磐3町を含むことで、山陽中心の現赤磐市政が、旧町の発展の為に更に一体感を増して、纏まりのある市政運営に繋がって欲しいと思えます。	桜が丘地区の住宅団地については、民間事業者により開発されたものであり、また、隣接する神田地区については市街化調整区域でもあるため、本市として追加造成を行う予定はありません。 不足する住宅用地については、市街化区域内の未利用地や新たな拠点の周辺など、公共交通の利便性の高い地域へ誘導する方針としております。

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
<p>在住者 (桜が丘西) ※次項に続く</p>	<p>P 46 その他の都市施設等の整備方針 医療・社会福祉施設</p>	<p>保育体制の充実や子育て施設の拠点施設の整備を図ります。 → 子育て世代の多いネオポリスの中心である桜が丘中央の土地(桜が丘中学校の隣)に子育て支援の拠点を整備されてはいかがでしょうか？ 子供が動物と触れ合ったり、自然に触れたり、アスレチックで遊んだり出来る大型児童館(こどもの国)の整備を検討されてはいかがでしょうか？ 大型児童館(こどもの国)を岡山ネオポリスに整備することで、赤磐市及び周辺自治体に住まれている方の、子育て支援の拠点になることと思います。 館内には、放課後児童クラブや母親クラブ、産前産後の相談所、児童相談所(赤磐警察署と連携)、障害児童の相談所・療育施設、産科・小児科に特化した地方独立行政法人による市立病院、市立認定こども園を整備されてはいかがでしょうか？ また、桜が丘中央周辺に幼児や小学生連れでも気兼ねなく入店でき、こどもの椅子や座敷、離乳食対応のファミリーに利用しやすい食事処の整備も検討願います。(うどんおよべ、かもがた茶屋、ベイベーフェイスプラネット等) ファミリー世帯の多い桜が丘地区の中央に子育て支援の拠点を整備することはニーズに即しているのではないかと思います。</p>	<p>本計画は、都市計画の基本的な方針であり、医療・社会福祉施設の整備方針として、保育体制の充実や子育て施設の拠点施設の整備を図ることをお示しております。 具体的な整備については、その位置や規模、内容、整備の時期など、今後、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、検討を進めていきたいと考えております。 また、大規模住宅団地中心部の商業地については、ご意見のとおり住民の方のニーズにあった都市機能の誘導を図ることにより、団地全体の魅力向上や生活環境の改善を目指してまいります。 頂いたご意見については、下記のとおり計画案を修正するとともに、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。 ※計画案の修正内容 ・大規模住宅団地中心部の整備方針の追加 &lt;該当箇所&gt;P49</p>
	<p>P 52 人にやさしいまちづくりの方針 日常生活における安全性の確保</p>	<p>下市～桜が丘地区へのメイン道路は自動車の交通量が多いですが、歩道が狭くガタガタの道であり自転車利用者にとっては大変危険です。歩道の整備を迅速に進めていただきたいです。 河本岩田地区に出来る新たな公共交通拠点について、同時に道の駅として整備し、赤磐市サイクリングターミナルを作り砂川沿いにサイクリングロードを整備し、仁堀経由で吉井支所周辺にサイクリングステーションを作り、山陽地域～吉井地域をサイクリングロードで結ぶ計画を検討されてみてはいかがでしょうか。 吉井地区までサイクリングロードがつながることで、片鉄サイクリングロードとつながり、自転車で安全に北は柵原、湯郷温泉、鶴山公園まで南は和気、備前サイクリングターミナル(西片上)、日生(頭島)まで行くことが可能となります。近年自転車需要が高まり、安全に遠方へ行く道路を整備することは赤磐市の発展にも繋がると思います。 昨年は赤磐市が全国的に知名度アップした多賀地区の事故があり、歩行者と自転車を分離した道路整備は最重要課題ではないでしょうか。歩行者・自転車が安心して通れる道路を要望したいです。</p>	<p>本計画は、都市計画の基本的な方針であり、人にやさしいまちづくりの方針として、歩行者の安全性を確保することをお示しております。 ご指摘の県道については、今後、この方針に即して、具体的な整備内容や整備時期など、管理する岡山県とも協力しながら、個別に検討していくべきものと考えております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
	<p>P 49 市街地整備の方針</p>	<p>新たな公共交通拠点には、人が賑わう施設にしていくために、AKAIWAカフェや西山ファームのカフェ、小動物と触れ合えるコーナー、子供が走り回っても安全な屋内型遊戯施設、多種多様な飲食街等整備して頂きたいです。</p>	<p>今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
<p>在住者 (桜が丘西) ※次項に続く</p>	<p>P 49 市街地整備の方針</p>	<p>河本岩田地区には宇野バスが走っており、新たな公共交通の拠点は赤磐市内を走る全線が乗り入れてほしいです。また、他都市へのアクセス向上が課題であると思います。宇野バスは岡山駅及び瀬戸駅にアクセスしています。赤磐市と周辺自治体で協議し、他都市へのアクセス良好なバスの運行をお願いしたいです。候補としては</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.東岡山線(東岡山駅・環太平洋大学・河本岩田) * 時間帯により東岡山線からドイツの森行きを運行(ゆめタウン前・五日市・町苅田・笹岡・ドイツの森)</li> <li>2.熊山駅線(熊山駅・松木・磐梨・熊山インター・野間・桜が丘中央・山陽北小学校前・山陽ふれあい公園・農マル園芸(乗り入れ)・河本岩田)</li> <li>3.岡山空港線(岡山空港・津高(岡山インター)・山陽自動車道・立川(山陽インター)・河本岩田)</li> <li>4.津山線(津山駅・鶴山公園・東津山駅・川辺(津山インター)・中国自動車道～美作岡山道路)・吉井インター(インター付近にパーキング開設)・熊山インター・桜が丘中央・河本岩田)</li> </ol> <p>を候補に挙げたいです。</p> <p>1・2についてはJR西日本と協議し1は西大寺駅長船駅との接続が良好な運行時刻2については上郡駅相生駅との接続が良好な運行時刻に設定。</p> <p>4については美作岡山道路全線開通までは(仮)吉井インターパーキングまでの往復運行。JR津山線が土砂崩れや崩壊等で利用できない際に岡山～津山を結ぶ代替路線としても活用可能。</p> <p>赤磐市内各主要地域及び観光地、そして他都市を結ぶ交通の結節点としての整備を検討お願いします。</p>	<p>本計画では、市街地整備の方針として、河本・岩田地区周辺に交通結節点を含む、新たなにぎわいと交流の拠点を整備する方針をお示しております。公共交通の拠点については、市内外からの各種交通を結ぶ交通結節機能を持つ施設の整備を想定しており、具体的な路線や規模など、今後、市民の皆様や交通事業者等のご意見をお聞きしながら、検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
	<p>P 46 その他の都市施設等の整備方針 医療・社会福祉施設</p>	<p>子育てするなら赤磐市と呼ばれるように子供を生み育てる環境の充実を図っていただきたいです。</p> <p>東備地域(備前・和気・赤磐)には産科病院が存在しないため産科や子供の病気を重点に診ていただけることも病院の設置や小さい子供と食事ができる飲食店、子供の記念写真が撮影できるスタジオ(スタジオアリス等)、屋内で子供が楽しめるプレイパーク、子供の可能性を上げることができるキッズシア等を誘致して頂きたいです。また、桜が丘地域は若いファミリー世帯がどんどん増えており、保育園に入園が困難な状況になっています。さらに保育料無料化の施策が来年の10月から始まる予定である為、保育施設は現状より増やしていく必要があると思います。</p> <p>また、発達障害をはじめ普通級では学びにくさを感じている子供たちのために、市立の特別支援学校を建設されてはいかがでしょうか？</p> <p>熊山の松木地区にある豊田小学校を沢原地区にある磐梨小学校と統合し、豊田小学校跡地に市立特別支援学校を建てられたらいかがでしょうか？</p> <p>赤磐市には県立高校がありませんが、県立高校を誘致することよりも岡山市や津山市等の高校にアクセス良好な環境を整えることのほうが現実的であり、少子化に移り行く時代の流れに即していると思います。</p> <p>さらに時代のニーズに即した高等教育機関の開設を検討されてみてはいかがでしょうか？</p> <p>看護師やリハビリの専門家を育成する学校や岡山県立大学農学部(赤磐キャンパス)を誘致するなど若者が集い、賑わうことで街が発展していくと思います。</p> <p>赤磐市の子供たちがしっかりと学べる環境を整えて頂きたいと思います。</p>	<p>本計画は、都市計画の基本的な方針であり、医療・社会福祉施設の整備方針として、保育体制の充実や子育て施設の拠点施設の整備を図ることをお示しております。</p> <p>具体的な整備については、その位置や規模、内容、整備の時期など、今後、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、検討を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、ご提案の高等教育機関の開設については、現在取り組んでいる子育て支援や定住促進など、各種の施策の着実な推進に努め、近隣県立高校との連携も深めながら進学実績をあげていくことで、県立高校誘致の実現を可能にしたいと考えております。</p> <p>頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。</p>

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・該当箇所	ご意見	市の考え方
在住者 (桜が丘西) ※前項の続き	P 27 将来都市像 都市拠点	県南東部地域の拠点として都市機能を高めていくために具体的にどのような商業施設行政機関を集積する予定でしょうか。 福祉事務所や児童相談所の整備、山陽団地にある社会福祉協議会等を整備し、福祉に関する行政サービスを集積して頂きたいです。 瀬戸町にある警察署については赤磐市内に移転予定でしょうか？	本計画では、目指すべき将来都市像として、都市的な機能の集積を図る拠点とすべき地域を設定しております。 市役所を中心とする既成市街地については、商業施設や行政機関などを集積する都市拠点として位置づけており、今後、各地にある行政機能等の移転が検討される際には、その集積を目指して行きます。 なお、瀬戸の赤磐警察署については、現時点では移転の予定はありません。
	P 49 市街地整備の方針 魅力ある中心市街地の整備	河本・岩田地域に出来る予定の新たな公共交通拠点に文化交流拠点として大規模な音楽コンサートや演劇、コンベンション機能を併せ持つ市民ホールの建設を検討されてはいかがでしょうか？ また、観光客が赤磐市に訪れても宿泊施設が少なく滞在型の観光客は少ない現状だと思います。しかしながら、ビジネスホテルやリゾートホテルを建設しても赤磐市のホテルに泊まるとなると、凄く魅力的なホテルでないと思えます。 そのため、岡山市にある稲荷山健康センターや総社市にあるサンロード吉備路、中国地方にはないですが全国展開している大江戸温泉物語等のアミューズメント機能と宿泊機能を併せ持つ温泉施設を整備することで観光客のみならず赤磐市をはじめ周辺市町村から温泉施設を目的に赤磐市に足を運んでもらえることが予想できます。 また、道の駅と観光案内所を併設し、レンタサイクルやレンタカー、タクシーや主要の鉄道駅や観光地にアクセスできるバス路線の開設を検討して頂きたいです。	本計画では、市街地整備の方針として、河本・岩田地区周辺に交通結節点を含む、新たなにぎわいと交流の拠点を整備する方針をお示しております。 にぎわいと交流の機能については、具体的な施設やその規模など含め、今後、市民の皆様のご意見をお聞きしながら、検討を進めていきたいと考えております。 頂いたご意見については、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (鴨前)	—	河本・岩田地区を開発して、特産物の販売、PRをしていただければと思います。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (沼田)	—	家族で気軽に立ち寄れる憩いの場所として「道の駅」は良いと思います。また、赤磐市へ市外の観光バスや一般の方が立ち寄る機会も増えると思います。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (奥吉原)	—	集荷便があったらいいなあ。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (是里)	—	・ジビエ(特にイノシシ)の処理施設及び加工場があればよい。(赤磐市には無いので) ・ぶどう農家としてB品(バラ房等)の加工・販売所もあればよい。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (鴨前)	—	・道の駅 ・宿泊施設 ・鉄道駅 ・地産地消の飲食店	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (斗有)	—	・宿泊施設 ・スイーツショップ ・マクド	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (日古木)	—	・道の駅ができ赤磐市の生産者の果物、野菜を販売するようになってほしい。 ・宿泊施設がいつしょにあると良いのではないかと。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (山陽)	—	道の駅などのお店よりは公園など若い人、子供たちが集まる場所が欲しい。ふれあい公園だけでは物足りない。農産物を売るところはすでにたくさんあり品不足が懸念される。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。

都市計画マスタープラン(素案)に関するパブリックコメントに寄せられたご意見と市の考え方

意見者	ページ・ 該当箇所	ご意見	市の考え方
在住者 (日古木)	—	岡山市へのアクセスが良くなり利便性が向上する。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (岩田)	—	岩田・河本新しい拠点ができるので大変いいことと思います。私は賛成しています。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (河本)	—	河本、岩田あたりへ新しい拠点をつくることは大変いいことです。市役所の考えに全面的に賛成です。 特に山陽団地の人たちの働き場所も多くなり、パートを望む婦人たちも喜ぶと思います。 早急に計画を進めましょう。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (日古木)	—	当計画を推進することにより、交通の便も向上し、集客量が増加する。それに伴い、多くの企業の参加が望め、雇用も増加する。 又、当市のもう一つの基盤でもある農業にも若い人が増加する。 現在進行中の高齢化にも緩和できると思う。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (桜が丘西)	—	・道の駅は地産地消の観点から赤磐市内生産物を優先してほしい。 ・贈答品から加工用まで幅広く受け入れてほしい。 ・道の駅に反対の人もあるが、集客力のある道の駅があれば、回遊する人で好循環になる。 ・コストコのような大きな店が来ればなお良い。「あかいわブランド」を確立するのに重要。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (馬屋)	—	・イノシシ等の加工設備 ・地産地消を使ったカフェ、飲食店があれば。 ・子供の通学路など危険がないように配慮していただきたい 思います。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (日古木)	—	地域の活性化の為賛成 早急に進められたい	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (日古木)	—	赤磐市を元気にする新しい拠点を山陽インターの近くに作る事に大賛成です。雇用が生まれ農産物等が集荷できれば知名度が上がリ農家の生活が向上出来ます。 早急の実施を要望します。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。
在住者 (下仁保)	—	岡山市内に行きやすくなり必要性が増す。	今後のまちづくりの参考とさせていただきます。